

ユーロスタイルを昇華させた 幾何学的スポークデザイン

鍛造ホイールと見間違ふほどの細身の7本のツインスポーク。
リムエンドまで延ばされたそのデザインは、
見る者にスポーティかつ繊細な印象を与える。

SEBRING
SUPERIOR ES



Sebring SUPERIOR ES RAYS

●サイズ&価格

INCH	SIZE	DISK	RESIT (ノブクワアツク/個)	HOLE	PCD	径3.4倍径
19	8J	FACE-1	37(52), 44(45)		112	¥52,500
			35(54), 40(49), 47(42), 55(34)	5	154.3	
			37(52), 44(45)		120	
		FACE-2	35(30), 43(30)		112	
			30(44), 38(36), 45(29)	5	154.3	
			35(30), 43(30)		120	



しかし、SUPERIOR ESはそういった、デザイン性をスポイルする駄肉がないばかりが、強度を確保するのが難しい。リムレスデザインを採用。また、カラーリングも欧州社に人気の高いタイヤモンドブラックを取り入れた最新トレンドのホイールだ。

繊細なスポークに隠されたレイズ社の並々ならぬ情熱。昨年セブリングブランドから登場した「SUPERIOR ES」。鍛造ホイールとは思えない、エッジの利いた細身の7本ツインスポークが特徴だ。幾何学的にリムエンドまで延ばされたスポークは、先端に向かってさらに細くなり繊細な印象を与える。さらに、ホイールを実際のサイズより大きく見える効果も高められている。

このデザインが実現したのは、レイズ社の益々ならぬ開発力の高さと、繰り返された強度と耐久テストの賜物といっても過言ではない。一般的に、鍛造ホイールはデザイン性に有利といわれているが、極細スポークともなれば話は別。強度を保つための駄肉が必要になり、重厚で迫力のあるホイールが多くなる。